

臨床腫瘍科外来は、がん患者さんが通院しながら、より良い環境のもとで、安全に安心して、化学療法（主に抗がん剤治療）を受けていただくところです。南棟3階にあり、ゆったりと過ごしていただける空間をつくっています。

通院で受ける化学療法は、ご自宅で過ごせるという大きなメリットがありますが、ご自身による副作用のセルフケアをお願いすることになります。

化学療法に精通した看護師4名が、患者さんがセルフケアできるようお手伝いしています。また



体調面だけでなく、不安や心配ごと、社会資源の利用について相談を承っています。お困りのことがあれば、何でもご相談ください。ご相談をお待ちしています。

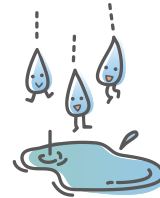
ご案内

6月のがんサロン

- と き / 6月23日（木）
14：00から15：30まで
- ところ / 県立広島病院 新東棟2階研修室
- 内 容 / 第3回県立広島病院がんサロン
○テーマ
「肝臓がんについて」
- 対 象 / 当院でがん治療・緩和ケアを受けている患者様及びその御家族
- 問い合わせ先 / 県立広島病院 地域連携科
TEL：082-256-3562（直通）

糖尿病教室

- と き / 6月14日（火）
13：30から14：30まで
- ところ / 県立広島病院 南棟3階修養室
- 内 容 / 「**うちは砂糖を使いません。**
いつも「みりん」です。」
～意外な調味料が血糖値に関係あり～
- 対 象 / 当院通院中の糖尿病患者様及びそのご家族の方
- 費 用 / 集団栄養食事指導料（健康保険の一部負担）
をいただきます。
（3割負担の方は、240円となります。）
- 問い合わせ先 / 県立広島病院 栄養管理科
TEL：082-252-6218（直通）
（管理栄養士による糖尿病教室です。お気軽にご参加ください。）



外来診療のご案内

- 診療受付時間
午前8時30分～午前11時00分
※午後の診療は科によって異なります。
- 休診日
土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始（12月29日～1月3日）
- 紹介状持参のお願い
初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



このたびの東日本大震災で、当院から被災地に派遣された医療支援スタッフの出発時やマスク回収時の様子です。

今回の震災では、当院からも、医療支援スタッフを4回派遣しております。

震災で被害を受けられた方々には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。



ワンポイント健康メモ① —ペットを飼う前に、ちょっと考えよう—

呼吸器内科の診察において、ペットに関する質問をすることをご存じでしょうか？これはペットを飼うことにより引き起こされる呼吸器疾患があるからです。それらの疾患を大きく分けると感染症とアレルギー疾患のふたつがあります。

感染症として知られているものにオウム病肺炎があります。これは室内で飼育しているインコなどがクラミジアという病原体に感染し、飼い主がその鳥の糞などに粉れた病原体を吸入し起こす肺炎です。2002年に「松江フォーゲルパーク」で来場者が集団感染した事例があり注目されました。

アレルギー疾患としては、気管支炎や気管支喘息があります。「とっとこハム太郎」の影響か室内でハムスターを飼うことが流行ったところから、「ハムスター喘息」が急増し問題となりました。

呼吸器内科医として、**家族内（親、兄弟、子**

供）に気管支喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎などがあるひとやそれらの疾患を持っているひと（アレルギー素因をもつひと）には室内でペットを飼うことはお勧めできません。経験的にはハムスターだけではなくウサギ、犬、猫などのペットを飼い始めて2年以内にせきや「ゼイゼイ」などの症状が出る人が多いと思います。

ペットフード協会の調査では、平成21年に全国で飼育されている犬・猫は約2234万匹と報告され空前のペットブームを迎えています。ステロイド・抗がん剤などの免疫力を押さえる薬剤を服用しているひとやアレルギー素因を持つひとはペットを飼う前に家族で十分話し合いをしてください。最後に、ペットから感染する疾患についてもっと知りたいかたは、2007年に環境省が作成した「人と動物の共通感染症に関するガイドライン」を見てください。

呼吸器内科・リウマチ科 土井正男

診療科だより

第8回

4月から
診療科名が
新しくなった

脳神経内科

時信主任部長に直撃インタビュー!!

「脳神経内科」について教えてください。

平成23年4月より、「神経内科」から「脳神経内科」に科名が変更になりました。残念ながら「神経内科」の認知度が低いため、精神科の先生が担当



時信主任部長

している「神経科」「精神神経科」「心療内科」といった標榜科との曖昧さを解消するために、「脳神経外科」に対応する科名として全国的に「脳神経内科」と標榜することが多くなってきています。

当院でも「神経内科」として入院診療が開始されたのは平成3年の4月からとまだ歴史は浅いですが、平成23年4月より神経学会専門医が1名増員となり、神経学会専門医が3名となりました。脳卒中学会専門医、頭痛学会専門医、認知症学会専門医などを取得し、神経内科領域の広い範囲の疾患に対して診療を行っています。

どのような病気の治療を行っているのですか。

脳・脊髄といった中枢神経、そこから出る脳神経を含めた末梢神経、筋肉に由来する症状を呈する疾患を扱っています。代表的な疾患は、脳血管障害、変性疾患としてのパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー型認知症、末梢神経障害としてのギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、チャグ・ストラウス症候群、中枢神経系の炎症疾患としての脳炎、髄膜炎、多発性硬化症、機能的疾患としての一次性頭痛(器質性疾患としての二次性頭痛の鑑別を含めて)、てんかん、片側顔面痙攣、眼瞼痙攣など極めて多岐にわたっており、これらに対して適切な治療を提供しています。また、経過が長期に及ぶ疾患が多く、精神面でのサポートも欠かすことができません。

「脳神経内科」のスタッフはどんな方ですか。

髭の似合う井上先生、薩摩隼人の仲先生、岡山県出身で教授からクレオパトラと呼ばれている太田先生、高知県出身の主任部長と、広島県出身者は井上先生だけで、いまだに「にがる」の微妙なニュアンスが理解仕切れていません。

ちなみに、時信先生の趣味は何ですか。

ドライブが好きで、若い頃は一日に500km以上は普通に走っていましたが、最近遠出することがめっきりなくなりました。近いうちに、角島大橋に行こうと考えています。結構飛ばす方ですが、この前無事3回目のゴールド免許を更新しました。

最後に「脳神経内科」のモットーを教えてください。

神経難病という言葉があるように、経過が長く完治しにくい疾患の患者さんが多いので、気持ちを傾聴しながら、その患者さんにあった治療法を選択しながらつきあっていくようにしています。

脳や神経の病気・・・というと大変そうに感じますが、温厚な時信先生をはじめとして、信頼のおけるスタッフが揃っている脳神経内科なら、患者さんも安心して治療できますね。



後列左から、研修医の岡林、太田、仲
前列左から時信、井上

今回は、新生児科に直撃インタビューします。

県立広島病院では、地域の医療機関との連携強化の取組みを進めています!

地域連携センター 地域連携科

私たちは、県立広島病院 地域連携センター地域連携科です。

県病院を利用してくださる患者様やご家族が、安心して療養生活が送れるように、様々な相談に応じています。そして、みなさんの近くのお医者さんとも連絡を取り合い、住み慣れた地域で生活できるように、福祉などの資源も利用しやすいようお手伝いしています。



地域連携科は3つに分かれて仕事をしています



病院ロビー「総合相談・がん相談室」

県病院を利用してくださる方の相談の窓口になっています。看護師がお話を伺い、ご相談の内容に応じて看護師以外の担当スタッフもご紹介させていただきます。医療を受ける際の不安や心配事の相談もお受けしています。

新東棟2階「地域医療連携室」

地域の診療所・病院の先生方からのご紹介により、患者様の受診予約をお取りしています。予約して受診していただくことにより、患者様には待ち時間の短縮などのメリットがあります。希望される日時を先生にお伝え下さい。そうすると、先生の方から県病院へ連絡が入り予約をとることができます。



新東棟2階「心理・社会相談室」

患者様やご家族が抱えておられる不安や悩みを一緒に考え、軽減していくことを目標としています。福祉制度の説明と利用方法、心理的なご相談などもお受けしています。



転院・退院を希望される場合は、地域連携科のメンバーが必要に応じて、診療所・病院・福祉施設・行政機関・訪問看護など様々な機関と連絡をとって転院・退院がスムーズにできるよう相談に応じています。